

昭和41年10月24日(月) 三重版
「定時、通信制教育生徒 体験発表会開く」

定時、通信制教育生徒 体験発表会開く

第九回県高等学校定時制・通信制教育生徒生活体験発表大会は、二十三日午前九時三十分から津市中央公民館で開かれた。

県下十八の定時制・通信制課程の学校から二十二人の弁士が登壇、集まった約三百人の生徒や先生たちの前で、生活や学習の悩み

から明るい希望をみつけ出すまでのこの過程を中心にその体験を発表して共感を得た。

沢村武雄審査委員長(県教委指導主事)ら五人が審査した結果、父親の病死以来、子どもときから育ててきた医学への夢をレントゲン技師という職場で実現しようとしている大達進君(神戸高三年)の「目標は遠けれど」が一位に入賞、大達君は十一月二十三日に東京で開く全国大会へ出場が決まった。

入賞者はつぎのみなさん。

- ②谷岡美根(上野高山山田分校、農業)
- ③服部操加(伊勢実業、伊勢米穀組合)
- ④佐藤勇(鳥羽高、海上保安庁)
- ⑤青木みち子(津実業、久居農協)